

3 岐阜県工業用水道事業の業務の状況

可茂地域は、東海環状自動車道東回りの整備開通に伴い、交通の利便性が格段に向上し、安定した地盤など立地に恵まれた環境であることから企業進出が進んでいます。

可茂工業用水道事業については、美濃加茂市内の企業へ給水を行っており、今後も水需要を見極めながら、新規需要の開拓に引き続き最善の努力をする方針です。

令和5年度（上半期）の状況

1 概 況

区 分	今 期	前 年 同 期	比 較 増 減	対前年比率
給水先事業所	13ヵ所	12ヵ所	1ヵ所	108.3 %
契 約 水 量	5,148m ³ /日	4,500m ³ /日	648m ³ /日	114.4 %

2 経理の状況

本年度9月末までの経理状況は次のとおりで、前年同期と比べ、収益は10.0%の増加、費用は10.5%の増加となっています。収益の増加については給水収益の増加によるものであり、費用の増加については、負担金補助及び交付金の増加によるものです。

経理の状況

区 分	今 期	前 年 同 期	比 較 増 減	対前年比率
	円	円	円	%
収 益	49,615,391	45,124,128	4,491,263	110.0
費 用	10,902,595	9,867,615	1,034,980	110.5
差 引	38,712,796	35,256,513	3,456,283	109.8

(減価償却費を除く。)

令和5年度岐阜県工業用水道事業残高試算表

(令和5年9月30日現在)

(単位：円)

1,694,617,697	固 定 資 産	
1,480,423,167	有 形 固 定 資 産	
214,194,530	無 形 固 定 資 産	
173,302,374	流 動 資 産	
161,190,595	現 金 預 金	
9,614,902	未 収 金	
1,855,300	前 払 金	
641,577	そ の 他 流 動 資 産	
	固 定 負 債	606,651,663
	企 業 債	162,717,148
	他 会 計 借 入 金	442,251,171
	引 当 金	1,683,344
	流 動 負 債	38,156,570
	企 業 債	9,919,610
	他 会 計 借 入 金	23,276,378
	そ の 他 流 動 負 債	4,960,582
	繰 延 収 益	257,821,096
	長 期 前 受 金*1	445,226,272
187,405,176	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額*2	
	資 本 金	793,734,357
	剰 余 金	132,843,589
	資 本 剰 余 金	76,293,396
	利 益 剰 余 金	56,550,193
	工 業 用 水 道 事 業 収 益	49,615,391
	営 業 収 益	49,606,126
	営 業 外 収 益	9,265
10,902,595	工 業 用 水 道 事 業 費 用	
9,967,748	営 業 費 用	
934,847	営 業 外 費 用	
1,878,822,666	合 計	1,878,222,666

令和4年度岐阜県工業用水道事業決算について

令和4年度は、美濃加茂市内の11法人（12事業所）に対して給水を行いました。

1 給水量

年間給水量は、3.8%の増加となりました。

給 水 実 績

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減	対前年比率
	m ³	m ³	m ³	%
可茂工業用水道事業	1,695,752	1,632,968	62,784	103.8

2 収益的収入・支出

事業収益は、前年度に比べ2.1%の増加となりました。これは主に、給水収益の増加によるものです。

また、事業費用は、前年度に比べ10.1%の増加となりました。これは主に、負担金補助及び交付金や修繕費の増加によるものです。

以上の結果、当年度純利益は25,893,572円となりました。

収益的収入・支出

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減	対前年比率
	円	円	円	%
工業用水道事業収益	100,086,965	98,046,902	2,040,063	102.1
営業収益	90,316,091	87,973,643	2,342,448	102.7
営業外収益	9,770,874	10,073,259	△ 302,385	97.0
工業用水道事業費用	74,193,393	67,390,281	6,803,112	110.1
営業費用	71,605,962	64,052,173	7,553,789	111.8
営業外費用	2,587,431	3,338,108	△ 750,677	77.5
当年度純利益	25,893,572	30,656,621	△ 4,763,049	84.5

3 資本的収入・支出

資本的収入は、前年に比べ皆減となりました。これは、企業債の減少によるものです。

また、資本的支出は、前年度に比べ46.9%の減少となりました。これは主に、建設改良費の減少によるものです。

資本的収入・支出

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減	対前年比率
	円	円	円	%
資本的収入	0	33,700,000	△ 33,700,000	皆減
企業債	0	33,700,000	△ 33,700,000	皆減
資本的支出	50,840,202	95,684,023	△ 44,843,821	53.1
建設改良費	8,233,500	47,828,000	△ 39,594,500	17.2
企業債償還金	39,623,325	45,172,248	△ 5,548,923	87.7
長期借入金償還金	2,983,377	2,684,000	299,377	111.2
差 引	△ 50,840,202	△ 61,984,023	11,143,821	82.0

令和4年度岐阜県工業用水道事業損益計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：円)

1 営業収益			
(1) 給水収益	<u>90,316,091</u>	90,316,091	
2 営業費用			
(1) 原水及び浄水費*3	18,678,794		
(2) 総係費*4	3,303,242		
(3) 減価償却費*5	48,700,409		
(4) 資産減耗費*6	<u>923,517</u>	<u>71,605,962</u>	
営業利益			18,710,129
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	999		
(2) 長期前受金戻入*1	9,749,074		
(3) 雑収益	<u>20,801</u>	9,770,874	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	2,528,593		
(2) 雑支出	<u>58,838</u>	<u>2,587,431</u>	<u>7,183,443</u>
經常利益			25,893,572
当年度純利益			25,893,572
前年度繰越利益剰余金			0
その他未処分利益剰余金変動額			<u>30,656,621</u>
当年度未処分利益剰余金			<u><u>56,550,193</u></u>

令和4年度岐阜県工業用水道事業貸借対照表

(令和5年3月31日)

(単位：円)

資 産 の 部			
1 固定資産			
(1) 有形固定資産			
イ 土地		284,693,224	
ロ 構築物	1,798,479,628		
減価償却累計額	<u>△ 736,033,553</u>	1,062,446,075	
ハ 機械及び装置	46,489,437		
減価償却累計額	<u>△ 28,465,630</u>	18,023,807	
ニ 工具、器具及び備品	4,950,000		
減価償却累計額	<u>△ 891,000</u>	4,059,000	
ホ 建設仮勘定*7		<u>101,666,299</u>	
有形固定資産合計			1,470,888,405
(2) 無形固定資産			
イ ダム使用権		<u>214,194,530</u>	
無形固定資産合計			<u>214,194,530</u>
固定資産合計			1,685,082,935
2 流動資産			
(1) 現金預金		138,105,245	
(2) 未収金		<u>8,463,100</u>	
流動資産合計			<u>146,568,345</u>
資産合計			<u>1,831,651,280</u>
負 債 の 部			
3 固定負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債		<u>162,717,148</u>	
企業債合計			162,717,148
(2) 他会計借入金			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための長期借入金		<u>442,251,171</u>	
他会計借入金合計			442,251,171
(3) 引当金*8			
イ 退職給付引当金		<u>1,683,344</u>	
引当金合計			<u>1,683,344</u>
固定負債合計			606,651,663
4 流動負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債		<u>19,728,113</u>	
企業債合計			19,728,113

(2) 他会計借入金			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための長期借入金	<u>23,276,378</u>		
他会計借入金合計		23,276,378	
(3) 未払金		5,620,443	
(4) 引当金			
イ 賞与引当金	395,763		
引当金合計		<u>395,763</u>	
(5) その他流動負債			
イ 預り金	<u>14,640</u>		
その他流動負債合計		<u>14,640</u>	
流動負債合計			49,035,337
5 繰延収益			
長期前受金*1		436,791,510	
収益化累計額*2		<u>△187,405,176</u>	
繰延収益合計			<u>249,386,334</u>
負債合計			<u><u>905,073,334</u></u>

資 本 の 部

6 資本金			793,734,357
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ その他資本剰余金	<u>76,293,396</u>		
資本剰余金合計		76,293,396	
(2) 利益剰余金			
イ 当年度未処分利益剰余金	<u>56,550,193</u>		
利益剰余金合計		<u>56,550,193</u>	
剰余金合計			<u>132,843,589</u>
資本合計			926,577,946
負債資本合計			<u><u>1,831,651,280</u></u>

* 1 長期前受金、長期前受金戻入

減価償却を行う固定資産の取得又は改良に充てるため補助金等の交付を受けた場合において、その交付を受けた金額に相当する額を長期前受金として計上します。

また、長期前受金として計上した額のうち、当年度の減価償却見合い分を長期前受金戻入として計上します。

* 2 長期前受金収益化累計額

長期前受金戻入をした額の合計です。

* 3 原水及び浄水費

主に工業用水を作ったり、施設を維持するための費用です。

* 4 総係費

主に事業の経営管理などを行うための費用です。

* 5 減価償却費

建物や機器等の固定資産は、使用や時間の経過によってその経済的価値が減少していきます。この減少額を毎事業年度の費用として配分することを減価償却といいます。

* 6 資産減耗費

固定資産が使用によって滅失し、また機能的に使用に耐えなくなったときは、この固定資産を廃棄します。この場合、固定資産の減価償却費として費用化されていない額を資産減耗費として計上します。

* 7 建設仮勘定

巨額の資産の建設等については、完成までその建設期間中の資産について、一時的に使用する勘定科目（建設仮勘定）で整理します。

* 8 引当金

将来発生する費用に備えるために計上する科目です。

工業用水道事業会計には退職給付引当金と賞与引当金、その他引当金の三つがあります。